

# 放射性物質への対応 独自調査をもとに

市内の空間放射線量は、市の調査では、さほど高くない、とされていますが、市民ネットワークでは、多くの市民の声に応える形で、独自に校庭や公園の空間放射線量の測定を行いました。データも不足しており、あくまで参考ですが、実際に測ってみると、局所的に線量の高のところもあります。線量低減のための掃除などの対応や、また独自のガイドラインの検討を求めました。市民自らの測定は、放射性物質への理解を高め、それが原子力発電の持つ問題を考えることにもつながるので、機器の貸し出しなどの支援を行ってほしいと思います。

この他に...

美浜区の道路・下水道などの本格復旧に向けてのスケジュール調整をきっちり行うこと、地域防災計画の見直しには市民の経験をしっかりと活かすこと、液状化被害の大きかった地区の高齢化の問題、これからのエネルギー対策の一環としての太陽熱利用への補助についても取り上げました。



湯 浅美和子  
(美浜区)



山田京子  
(若葉区)

## 災害時、支援を必要とする人たちをどう支えるか

東日本大震災を受け、障がい者や高齢者の方々が被災した場合の支援体制づくりが急がれます。今回、知的障がい者のご家族からも早期の取り組み開始を求める声があり、市的重要支援者支援体制の進捗について質問に取り上げました。

### 地域での取組みに支援を！

一部の自治会や自主防災組織では、昨年からは「支えあいカード作り」が、モデル的（各区2か所ほど）に進められています。災害時に支援を必要とする人にあらかじめ申し出ていただき、カード化するものですが、個人情報取り扱いなど課題も多く、予定通り進んでいません。

進めるには区役所のかかわりを増やしませんが、意欲のある地域に任せていくことが大切ではないでしょうか。少しでも多くの地域が取り組めるよう、うまくいっている事例を紹介するなど区役所が要となって進めていくことが必要です。

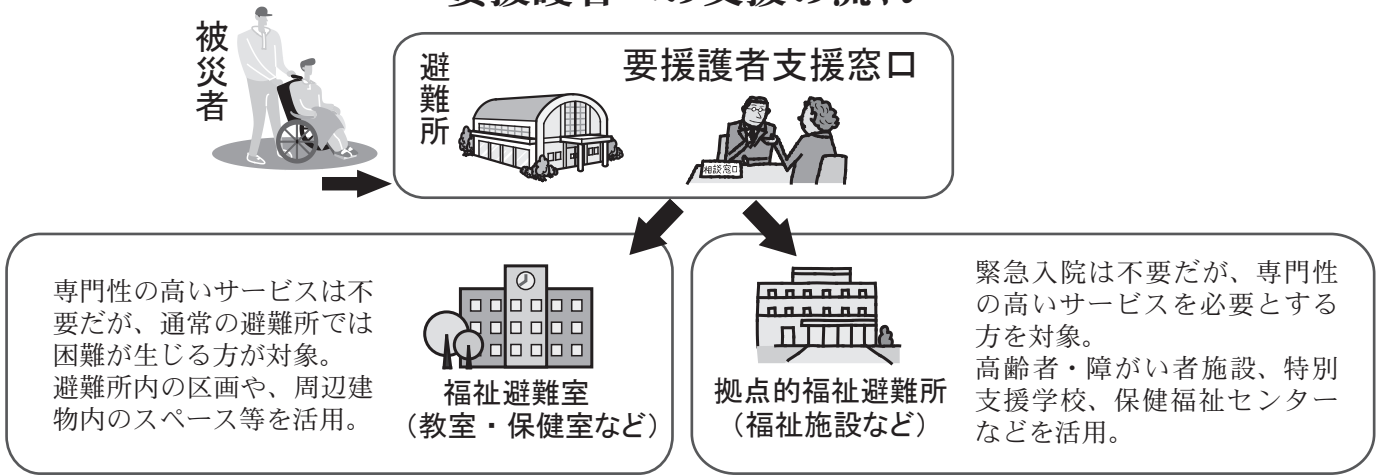
### 福祉避難所指定を急げ！

障がい者・認知症のある方や、通常の避難所生活が難しい方は、要援護者支援窓口を通して「福祉避難室」（保健室など）や、「拠点福祉避難所」（施設など）に移動することになっていきます。

千葉県は昨年度中に福祉避難所の指定を行う予定でしたが、まったく進みませんでした。福祉避難所指定には対象者・施設の把握、運営体制の整備などたくさん課題があります。災害は明日起こるかもしれません。

いざとなったらすぐ福祉避難所が機能するよう、工程表を作って目標を定め、確実に指定が進むよう強く求めました。

## 要援護者への支援の流れ



## 意見書って何？

意見書とは、地方自治法に基づき市政の発展に必要な事柄について、議会の意思として国や関係行政庁などに対して提出できる文章のこと。今議会では4つの会派から12の意見書が提出されましたが、議会運営委員会で協議の結果6つの意見書が本会議に上程され、すべて採択されました。(内容は千葉県議会HPに載っています)

市民ネットワークでは今までにも多くの意見書を提出し、採択されてきました。これからも皆様からの声を反映させるべく、取り組んでまいりますので是非、ご意見・ご要望をお寄せください。

## コラム

### 議会のあり方検討協議会始まる！

議長を座長として「議会のあり方検討協議会」が発足しました。議員報酬や定数をはじめ、これからの議会のあり方を集中して議論する場となります。一般公開されていますので傍聴して、ぜひご意見をお寄せください。

次回は7月11日、22日。いずれも午後1時から、議会棟内で行われます。